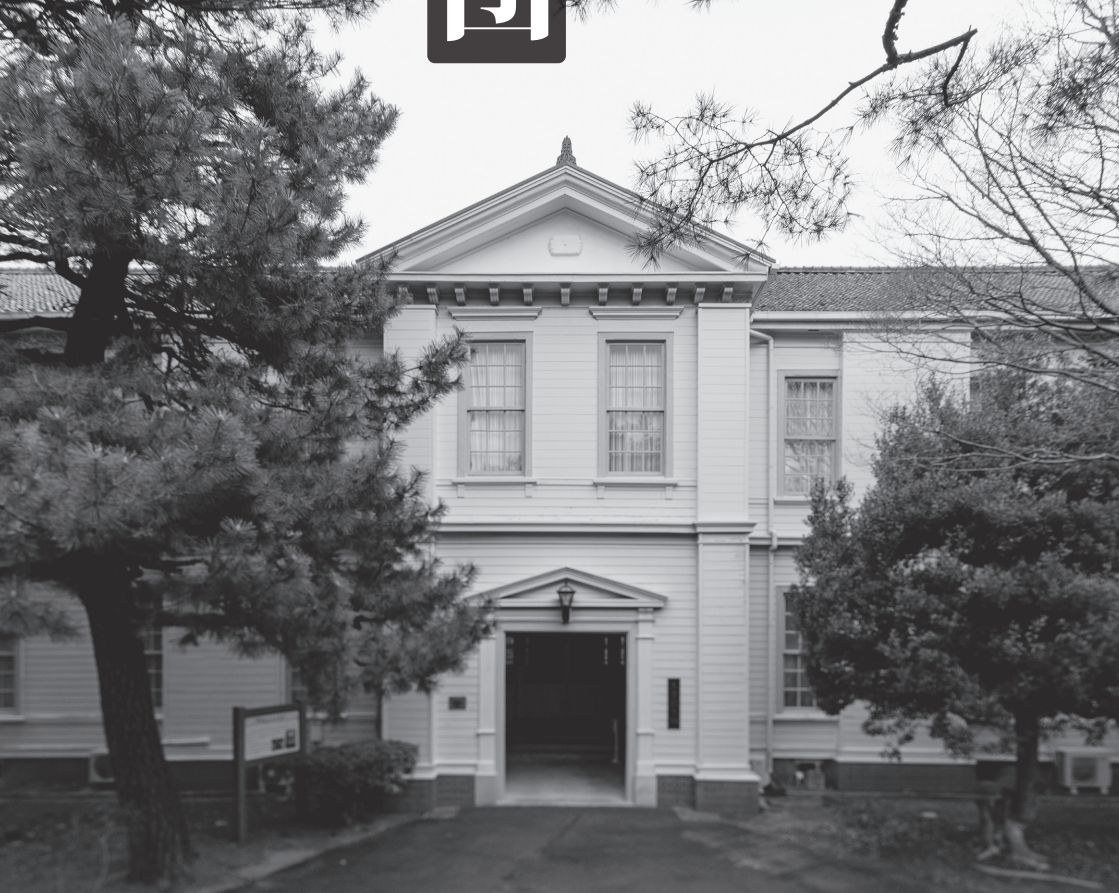




— 歴史と建物 —

# 豊橋と 陸軍師団

山田邦明  
泉田英雄



## はじめに

愛知県豊橋市に愛知大学が設立されたのは、敗戦後まもない昭和21年（西暦1946年）のことである。陸軍関係の施設があった跡地に入り、建物もそのまま利用してその歩みを始めたのである。それから75年以上経過し、建物の多くは解体されたが、今でも健在で、立派に姿をとどめている建物もいくつかある。陸軍第15師団の開設時（1908年）やそのしばらく後に建築された師団司令部・将校集会所・第二機銃廠・師団長官舎、陸軍教導学校開設時（1927年）に建築された大講堂と養生舎である。

建築されてからすでに100年が経過し、これをどのように保存し活用していくかが大きな課題となっている。そのためには、まずは本格的な建物調査を行い、学問的研究を進めることが必要なので、「愛知大学特別重点研究」という大学の研究助成制度を利用させていただくことにした。愛知大学総合郷土研究所が中心機関となり、「愛知大学等における歴史的建造物の調査・研究」というタイトルで応募して採択を得、2020年度から2022年度までの3年間の企画として調査・研究を進めた。その成果については毎年度末刊行の『年次報告書』と、最終年度末刊行の『最終報告書』にまとめたが、これとは別に、書店に並ぶような一般の書籍を刊行することも計画された。本書（『豊橋と陸軍師団』）はこの計画に基づき、愛知大学の予算を活用して出版したものである。

本書にはまず、2022年10月に行った研究成果発表会「愛知大学豊橋校舎の歴史的建造物—100年の歳月（とき）を超えて—」の内容を収録した。建物調査を行っていただいた泉田英雄氏の講演は、調査の成果を報告するとともに、愛知大学豊橋校舎にある建物の歴史的価値について本格的に論じられた貴重なものである。陸軍第15師団の設置の経緯についても、この場で山田が報告したが、師団設置から大正7年（1918）頃までの陸軍第15師団と、当時の豊橋のようすを概観した論考（「豊橋に師団があった頃」）

をまとめ、研究結果発表会の記録のあとに配置した。最後に置いた泉田氏の「偕行社の建造物文化財調査」は、惜しくも解体された偕行社の建物調査報告である。『愛知大学総合郷土研究所紀要』58 輯（2013 年）収録の論考だが、愛知大学豊橋校舎に所在した建物に関わる貴重な研究成果なので、ここに再録することとした。

陸軍第 15 師団が豊橋（高師村）に設置されたのは明治 41 年（1908）で、今から 115 年前にあたる。第 15 師団は大正 14 年（1925）に廃止されたが、その跡地は陸軍の用地として利用され、陸軍教導学校や陸軍予備士官学校などが置かれた。昭和 20 年（1945）の敗戦によって陸軍は解体し、遺物の多くが破壊されたが、豊橋には陸軍時代の痕跡を伝える遺構や遺物がかなり遺されており、新聞記事などから当時の様子を解き明かすことも可能である。現在に伝えられた建築物や遺構に目を向けつつ、100 年前の過去に思いを致してみるといっても、大切なことかもしれないし、そのための素材はたくさんあるような気がするのである。

2023 年 3 月

山田邦明

## 目次

はじめに

愛知大学豊橋校舎の歴史的建造物

—100年の歳月（とき）を超えて—	1
陸軍第15師団の設営	山田 邦明 3
愛知大学豊橋キャンパス内に残る旧陸軍施設建物について	泉田 英雄 21
豊橋に師団があった頃	山田 邦明 50
一 師団の設置が決定される	50
二 大工事をして軍隊を迎える	65
三 軍隊のシステムと兵員の召集	89
四 兵営生活の光と影	106
五 環境整備と、さまざまな出来事	132
偕行社の建造物文化財調査	泉田 英雄 150

愛知大学特別重点研究「愛知大学等における歴史的建造物の調査・研究」  
研究成果発表会

## 愛知大学豊橋校舎の歴史的建造物 -100年の歳月(とき)を超えて-

2022年10月1日(土曜) 午後1時30分から  
愛知大学豊橋キャンパス6号館620教室

### 進行 (山田邦明)

それでは時間になりましたので、開始させていただきます。愛知大学文学部の山田と申します。郷土研(総合郷土研究所)の所員です。本日は久しぶりの郷土研の研究発表会ですが、今回は愛知大学の「特別重点研究」に関わるものです。愛知大学のあるところは、もともとは陸軍第15師団の敷地で、陸軍がなくなったあとに愛知大学がここに入ってきたという経緯があります。それで、陸軍の時代の建物がいくつか残っているのですが、もう100年も経っていて、今後これが永久に残るという保証もない。そういう中で、まずはきちんとした調査をしなければいけない、ということで、大学の「特別重点研究」に応募して、2020年度から2022年度までの3年の契約でお金をいただき、調査を進めてきました。泉田先生にお願いして建物の調査をしていただき、その成果をご報告するイベントを開催することになりました。今年の1月に実施する予定だったのですが、コロナの感染が広がったので、中止せざるを得ませんでした。今日はお日柄にも恵まれ、こういう形で開催することができ、たいへん嬉しく思います。

私の報告と泉田先生のご講演のレジュメをお渡ししました。また、豊橋の美術博物館の方々のご厚意で、いろいろな資料も用意していただきましたので、ご参考にしていただければ幸いです。講演会は3時くらいに終了の予定ですが、隣の部屋に泉田先生のお話でもとりあげていただく建物図面のコピーが並べられているので、これをご覧いただき、そのあと、大学

の構内にある建物そのものを実際に見ていただく、探検隊というか、ブラタモリのような企画を考えています。3時でお帰りになっていただいてもかまいませんが、よろしければ、構内を巡るという企画にもおつきあいいただければと思います。

それではまず、郷土研の所長の神谷智から挨拶させていただきます。

## 神谷智

みなさんこんにちは。先ほど話がありましたように、1月にやる予定でしたが、コロナの影響でのびのびになっていました。今回も心配されたんですが、少しコロナも収まりかけてきたので実行することにしました。お集まりいただき、ありがとうございます。愛知大学に古い建物があることは、みなさんご存知でしょうが、よく知られているのは本館の建物と公館ですね。ここはすでに見学された方もいると思います。今回のテーマ（特別重点研究のタイトル）は「愛知大学等における歴史的建造物の調査・研究」ですが、この「等」が大事です。陸軍第15師団があったのは、愛知大学の場所だけではなくて、時習館高校もそうですし、豊橋公園のところにも軍隊がいました。今回はそうした全体的な話も、山田先生のほうからしていただけたと思います。それから、泉田先生からは、みなさんご存知の本館や公館、それ以外にもいろいろな建物がちょこちょこ残っているの、そうしたお話もあるのではないかと思います。この2つの点についてお聞きいただけるとありがたいです。よろしく願います。